

福祉部長目標（令和7年度組織目標）

● 福祉部長 越智 三奈子（おち みなこ）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを



● 福祉部の仕事

福祉部は、福祉総務課・生活福祉課・障害福祉課・高齢者支援課・介護保険課・地域福祉センターの6課で構成され、地域福祉の向上をめざして、高齢者及び障害者に関すること、生活保護に関すること、介護保険に関すること、地域福祉に関することなどを主な仕事としています。多様化・複雑化する福祉課題に対し関係機関等と連携しながら業務を進めていきます。

● 福祉部の目標

安心・安全に地域で生活できる環境づくりのため、生活困窮者等への適切な支援を行います。障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例に基づき必要な施策を推進します。認知症の方の意思を尊重し、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるための施策を推進します。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	生活困窮者自立促進支援事業	様々な課題を抱えて地域で孤立している生活困窮者の自立に向けた支援を行います。	社会参加に向け支援を必要とする方に対し、丁寧な対応により自立支援の強化を図ります。	新規相談件数は1,658件で、相談者の生活状況等を把握し、必要に応じて各種制度やサービスの利用に繋げるとともに、関係機関と連携を図りながら継続的な支援を行っています。
2	障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	条例に基づき社会的障壁の除去の推進を図るため施策を進めます。	障害のある人もない人も共に取り組めるワークショップや条例の周知啓発にかかわる研修等を行い、理解を深めます。	子ども福祉のフェスティバルや国立障害者リハビリテーションセンターの出席協力も得ながら障害者作品展を開催するなど、交流の場を創出するとともに、障害者への理解を深める普及啓発に取り組みました。また、障害のある人への理解を深める市民向け出前講座（9回）や職員を対象とした研修を実施しました。
3	認知症施策推進事業	認知症の方の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるための施策を推進します。	認知症についての正しい理解を深め、認知症と共生する地域づくりを推進します。また、認知症サポーターを支援するとともに、チームオレンジの体制づくりなども行っていきます。	認知症講演会やオレンジウィークを開催し推進員とともに認知症の普及啓発に努めました。認知症サポーター養成講座には2,201名が参加しました。